

## 川口町の被災とライフラインの復旧

調査日：平成 16 年 11 月 8 日（月）

班：上下水道・廃棄物班

分類別：被災状況、復旧・復興状況

キーワード別：上・下水道

### 調査結果

地震から 2 週間を過ぎた川口町(5,697 人、平成 15 年度末)を訪れ、被害が集中している駅前地区を調査した。町の起点は JR 越後川口駅であり(写真 1)、180 度振り返ると、様々な復興作業がようやく始まった感じだった(写真 2)。駅前十字路の家々の被害は顕著で(写真 3~6)、古い家の崩壊や(写真 7)、新しい家の深刻な被害(写真 8)が、あちこちに見られた。道路には消雪パイプを中心に不当沈下とひび割れが見られ(写真 9)、川合神社も被害を受け(写真 10)、墓石も多数が倒壊していた(写真 11)。

調査時、住人は屋内避難が認められていない由だったが、ガレージで地震に備えるもの(写真 12)、自衛隊提供のテントに住まうもの(写真 13)。厚い簀の子と石油ストーブが入っていて居住性は思いのほか良い)、魚野川河川敷に難を逃れるもの(写真 14)等、様々だった。

町の水道は簡易水道で、消火栓を経た応急水栓が新潟市水道局の手で設置されていた(写真 15)。消火栓が近くにない場合は、大きな水タンクに応急水栓が接続され使われていた(写真 13 手前)。また洗濯センターも設けられていた(写真 16)。

下水道は管路の洗浄と滞留下水のバキュームカーによる吸引(写真 17)、管路被害のビデオによる点検(写真 17・18)が行われていた。またガスの復旧も始まっていた(写真 19)。



写真 1



写真 2



写真3



写真4



写真5



写真6



写真7



写真8





写真9



写真10



写真11



写真12



写真13



写真14



写真 15



写真 16



写真 17



写真 18



写真 19



写真 20